

お手入れ・保管について

- ご使用後は食器用中性洗剤を付けた柔らかいスポンジなどで洗い、乾いた布などで水分を拭き取ってよく乾燥させてください。お手入れが不十分だと白い粉状のものが付着してきますが、水道水中の微量成分（マグネシウム・カルシウムなど）が固まったもので性質および衛生上問題ありません。
- こげつきなどを落とす場合は金属製の固いものを使用しないでください。
- 塩分や酸などを含んだ汚れが付着したままや濡れたままの状態（浸け置きなど）で放置しないでください。また、湿気の多い場所での保管はしないでください。**錆の発生原因となります。
- 汚れたまま長時間放っておくと汚れが落ちにくくなります。
- 鉄やアルミなどの**異種金属と接触したまま、または濡れたまま放置しないでください。**錆の発生原因となります。
- 材料の性質上、加熱により本体が変色してきますが、（虹色になる場合もあります）これは熱により、本体表面に酸化してできた膜（酸化被膜）です。衛生上問題はありませんが、取り除きたい場合は、市販の金属研磨剤をつけたスポンジなどでこすり落としてください。
- 加熱により底部が変色してきますがこれはステンレス表面にできた酸化被膜や汚れの焼き付きによるものです。有害な物質が生成されたものではありません。
- 食器洗浄機はご使用になれません。
- 手の届きにくい高所には保管しないでください。取り出し時に落下するなど、事故の恐れがあります。

錆が発生した場合には

普段のお手入れとは異なりますが、錆を金たわしや研磨剤などでこすり落としてください。次に水で洗い流してから乾いた布などで水分を拭き取ってから弱（弱火）で加熱して十分に乾燥させ、冷めてから保管してください。金たわしや市販の研磨剤を使用してお手入れをすると、小さな傷がつくことがあります。使用上問題ありません。

※製品仕様は予告なく変更することがあります。

品質表示	
〈なべ〉	■材料の種類／本体：ステンレス鋼（クロム 18%）底の厚さ 1.0mm 取っ手・ツミミ：フェノール樹脂
〈ふた〉	■品名／強化ガラス製器具 強化の種類／全面物理強化

MADE IN JAPAN

商品、取扱説明書の不明な点についての問い合わせ先

Tamahashi co., Ltd.
販売元 株式会社 タマハシ
〒959-1241 新潟県燕市小高 4-5-49-6
TEL 0256-63-9345 FAX 0256-96-2252
U R L <http://www.smile-king.co.jp>
E-mail tamahashi@smile-king.co.jp
受付時間／月～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00
（土日祝日を除く）

製造番号



Made in TSUBAME

要保管

銀鱗

蓋付き楯目雪平鍋

共通取扱説明書

この商品は家庭で調理をするために使うものです。
使用の際には取扱説明書をよく読んでから使用してください。
不適切な取扱いは事故につながります。
使用する方はこの取扱説明書を必ず保管してください。

200V・100V対応あらゆる熱源に対応もちろんガスにも使えます。



使用前の準備

- ご使用前には必ず、各部に異常がないことを確認してください。取っ手のガタつきや変形などが生じている場合には使用しないでください。
- 製造上、内面は細かい汚れが付着していることがあります。最初に使用する時は食器用中性洗剤を付けたスポンジなどで十分に洗います。次に乾いた布などで水分を拭き取ってから使用してください。
- ※お買い求め直後など、製品にシールなどが貼ってあるものはそれを剥がしてください。シールが剥れにくい場合には、ドライヤーなどで温めると剥がれやすくなります。（警告ラベルはそのままにしておいてください。）
- お手持ちの加熱機器の取扱説明書をよく読んでいただき、正しくお使いください。
- 品質には万全を期しておりますが万一、不具合やご不明な点がありましたらご使用にならずに株式会社タマハシお問い合わせ先までご連絡ください。

使用上の注意

警告

※空焚き禁止。※加熱中は火元を離れない。※調理以外の使用禁止。

※の項目を守らないと**火災になります。**

- 調理以外の用途には使用しないでください。
- 天ぷらなどの揚げ物調理には使用しないでください。下ごしらえで油を使用する場合は、**油の温度を200℃以上**にしないでください。油の過熱による火災の要因になります。
- 急激な衝撃を与えたり**空焚きは絶対にしないでください。**空焚きは火災や本体の変形、取っ手の破損や火傷や加熱機器の破損原因にもなります。万一、空焚きをしてしまった場合は水などで急に冷やさず、自然に冷やしてください。
- 取っ手のガタつきなどの破損に対し、**改造や応急処置をして使用することは危険**ですのでやめてください。
- フチまで内容物を満たした状態で使用しないでください。
- 本品は加熱機器の中央部にのせて、安定させた状態で使用してください。
- 火にかける際は、底面の水滴は拭き取ってください。
- 吹きこぼれ、煮こぼれしないように使用してください。火が消えてガスが漏れたり、加熱機器などが故障する原因となります。
- ストーブや七輪など炭火の上では**危険**ですから使用しないでください。
- 電子レンジ・オーブン・食洗機では使用しないでください。
- 加熱中や加熱直後は本体や取っ手が熱くなっていますので火傷に十分注意してください。つかむ際には鍋つかみやふきんを用いて、すべらないようにしっかり握ってください。また、乳幼児は遠ざけ、絶対に触せないようにしてください。
- 調理後など本体が熱いうちに、紙などの燃えやすいものの上には置かないでください。
- 本体内に料理を保存しないでください。錆の発生原因になりますので他の容器に移してください。
- 内容物を他の容器に移す際には本体外面への伝いもれや飛び散りに注意してください。
- アクの強い食材（ごぼうや山菜など）はアク抜きを十分にやってから調理してください。調理すると調理の汁などが黒く変色することがありますが、これは食材に含まれるタンニンが本体の鉄成分と反応した結果であり、製品の不具合ではありません。また、一般的には衛生上も有害ではないとされています。

注意「突沸現象」を防ぐ為に

みそ汁などで味噌を入れた直後や、温め直しの際には

1. あらかじめお玉でよくかき混ぜてください。
2. 一気に強火で煮立てないでください。
3. 煮立の際はお玉でよくかき混ぜながら行ってください。

「突沸現象」とは、味噌等が鍋底に沈殿している状態で急速に加熱した時に底部だけが先に沸き上がる現象で、内容物が飛び出したり、場合によっては鍋が転倒し火傷や物品の破損の危険があります。赤だし味噌（特に、だし入りの豆味噌）をご使用の場合は特にご注意ください。

【ガスコンロで使用するとき】

- 極少量の水を入れて沸騰させないでください。水が入っていない部分が高温になり変形が生じます。
- ガスコンロで使用する場合、**炎が本体底面からはみ出さないように火力を調節**してください。また、隣接する別のコンロの炎が取っ手部分にあたらないように**向きを調整**してください。樹脂部が燃焼して臭いがします。脱落の危険もあります。特に径の小さい鍋は十分注意してください。
- 予熱をする際の火力は必ず弱火で行ってください。強火での予熱は本体の変形などの破損原因になります。また、過熱などでの火傷には十分注意してください。

【クッキングヒーターで使用するとき】

- ご使用前には、お手持ちのクッキングヒーターの取扱説明書をよく読んでいただき、本品が使用できるか確認してください。
- 鍋はヒーターの中央部に置いてください。
- 普段ご使用の際、火力は必ず中（中火）以下で使用してください。最大火力で加熱しますと、変形などの原因になり、火傷や火災などの事故につながる恐れがあります。
- 加熱中にブーンやジーといった音が生じることがありますが、これは本体が共振しているためで、製品の異常ではありません。
- ご使用により調理器（クッキングヒーター）のトッププレートが汚れる場合があります。これは、トッププレートに付着している油膜や汚れが熱により焼きついたものです。

ガラス蓋の使用上の注意

- 蓋本来の用途以外には使用しないでください。
- 本品は耐熱ガラスではありません。
- ガラス蓋を鍋本体からずらした状態で使用しないでください。また、落し蓋として使用はしないでください。
- ガラス蓋に直接火をあてないでください。蓋が部分的に過熱し破損の原因になります。（この時、蓋のステンレスリングが変色しています。）
- ガラス蓋が熱いうちに、水をかけたり濡れた布で触れる等、急冷はしないでください。急激な温度変化を加えると破損の原因になります。
- ガラス蓋を落としたり、ぶつたりしないでください。急激な衝撃を与えると破損の原因になります。
- ガラス蓋にキズがついた場合は使用しないでください。そのまま使用すると破損の原因になります。
- 電子レンジやオーブンは使用しないでください。
- ガラス蓋を洗う際は、金属たわしやクレンザーは使用しないでください。ガラスの表面に傷を付け破損の原因となります。
- つまみがゆるんだ場合は止まるまで右にまわしてください。
- つまみを取り付ける際は過度に力を加えますと、ガラス蓋・つまみが破損する危険があります。止まるまで注意して右にまわしてください。
- 万一、破損した場合にガラス片が激しく飛散し、ケガをする恐れがあります。また割れたガラスを取り除く際は、ケガをする恐れがありますので十分注意してください。

ガラス蓋：全面物理強化ガラス

全面物理強化ガラスとはガラスに加工（加熱・急冷）を加えることで表面付近の分子が通常のガラス板よりも密になり、耐熱強度・耐衝撃強度が高くなったガラスです。また割れた場合、通常ガラスですと破片でケガをするおそれがありますが、強化ガラスは破片が粒状になりケガをしにくいという特徴があります。身の回りではじゅうのガラスドア・自動車・エスカレーター・家具などに幅広く使用されています。ごくまれに全面物理強化ガラスは表面が加工されているため、細かいキズがつくなどしてバランスがくずれると外部からの衝撃が加わっていないにもかかわらず、瞬間的に音と共に破裂するおそれがありますので使用上の注意を守ってください。